

麻疹ウイルス検査についてのお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたびの麻疹流行に伴い「麻疹ウイルス」HI法及びNT法の測定試薬が、今後の流行状況によっては不足することが予想されます。

これに伴い、検査結果報告遅延や突然の一時受託中止せざるを得ない状況が発生する可能性がございますので、取り急ぎご案内いたします。

つきましては、下記に示しました「麻疹ウイルス」PA法及びEIA法が代替項目としてございますので、あわせてご利用下さいますようお願い申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

2016年9月

【記】

◇対象検査項目

項目コード	検査項目
4275	麻疹ウイルス<HI法>
2378	麻疹ウイルス<NT法>

◇代替検査項目

項目コード	検査項目
5750	麻疹ウイルス<PA法>
2379	麻疹ウイルスIgG<EIA法>
2380	麻疹ウイルスIgM<EIA法>

※代替項目として上記項目(麻疹ウイルス PA法、EIA法)をご案内致します。

「医療機関での麻疹対応ガイドライン(第六版：暫定改訂版)」【平成28年5月26日 国立感染症研究所感染症疫学センター】の「麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法」において『酵素抗体法(EIA法)またはゼラチン粒子凝集法(PA法)を用いる。』と記載されております。